

平成 2 8 年度

八潮市まち・ひと・しごと創生

総合戦略事業評価調書

# 基本目標 1

- ・ 産業の振興と就労支援による  
いきいきと働ける環境づくり

総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H27年度実施事業)

基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり						
基本目標の趣旨	都心への近接性や交通アクセスのよさを活かした八潮産の農産物や工業製品のブランド化による販路拡大や商店街の活性化等により、市内産業を振興するとともに、就労機会を拡大し、就労人口の増加を図る。							
数値目標								
指標名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
法人市民税納税義務者数(法人均等副納税義務者数)	人	3,554 (H26年度)	計画	3,642	3,730	3,818	3,906	3,994
			実績	3,633	-			
八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50 (H26年度)	計画	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持
			実績	1.49	-			
八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320 (H26年度)	計画	320	320	320	320	360
			実績	268	172			
就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	計画	-	-	6	9	10
			実績	-	-			

事業の状況					
事務事業名	活動評価	K P I 名	達成度評価	方向性	備考
1 経営体支援事業	A	中川周辺農地で生産する農地所有適格法人数及び農家数	A	現状のまま継続	
2 地産地消推進事業	A	直売所売上高	A	現状のまま継続	
3 ふれあい農業促進事業	A	体験農園数	-	現状のまま継続	
4 商店街活性化推進事業	B	事業活用数	-	現状のまま継続	
5 中心商業拠点の形成事業	B	八潮駅周辺における商店街組織数	-	現状のまま継続	
6 商業支援事業	A	事業活用数	A	現状のまま継続	
7 工業振興事業	A	認定品数	-	見直して継続(重点化(拡充))	
8 経営改善支援事業【先行型事業】	A	市内事業所へのヒアリング	A	終了・完了	
9 経営革新取組企業支援事業	A	承認取得事業所数	A	現状のまま継続	
10 災害時の業務継続計画策定支援事業	A	業務継続計画策定件数	-	現状のまま継続	
11 企業立地推進事業	B	誘致に向けた情報提供数	A	現状のまま継続	
12 北部拠点まちづくり事業	A	北部地区の進出事業所数	-	現状のまま継続	
13 労働セミナー開催事業	A	セミナー参加者数	-	見直して継続(重点化(拡充))	
14 雇用安定事業	A	ジョブトレーニング参加者数	-	見直して継続(重点化(拡充))	

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	1 経営体支援事業		部	市民活力推進部	課	都市農業課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり(農業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			
	基本的方向	1	立地条件を活かした都市型農業の振興			
	具体的な施策	農業の担い手支援と環境保全型農業の推進		数値目標		
	事業内容	・中川周辺農地における農業経営の安定化を図るため、分散した農地や遊休農地を活用した農地の集約利用を促進するなど、農地集約の仕組みを整えるとともに、法人化等による農業規模の拡大を進める。 ・中川周辺農地において質の高い農産物を生産するため、農地の受け手が、有機栽培を行えるよう支援する。		指標名	単位	現状値(H27)
			法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
			八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
			八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
			就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	農地利用集積円滑化事業により、集積を申し出た件数4件、農地の出し手となる農業者4人、受け手となる農業者は2人となった。	0
H28	農地利用集積円滑化事業により、集積を申し出た件数1件、農地の出し手及び受け手それぞれ1人 中川農地受け手有機肥料購入補助金として、313,300円支出予定。中川農地出し手利用円滑化事業補助金として、75,192円支出する。	76
H29	農地利用集積円滑化事業により、農地の集積化を図る。農地の受け手に対して、有機肥料購入費の一部を補助する。 農地の出し手に対して、利用円滑化事業補助金を交付する。	784
H30	農地利用集積円滑化事業により、農地の集積化を図る。農地の受け手に対して、有機肥料購入費の一部を補助する。 農地の出し手に対して、利用円滑化事業補助金を交付する。	784
H31	農地利用集積円滑化事業により、農地の集積化を図る。農地の受け手に対して、有機肥料購入費の一部を補助する。 農地の出し手に対して、利用円滑化事業補助金を交付する。	784

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	農地利用集積円滑化事業により、4件の申し出があり農家2件が集約利用したため、累計4件となったため概ねできたと判断した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	C:達成できなかった(80%未満)
理由	中川周辺農地で生産する農地所有適格法人数及び農家数を平成27年度は累計4件と計画したところ、現状値と実績を合わせ計画件数が4件となったため、達成したと判断した。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	農業者の高齢化・担い手不足により、出し手となる農業者が多くなる。一方、意欲的に経営規模を拡大する受け手となる農業者の発掘が難しくなり、出し手と受け手をマッチングさせることが困難となる恐れがある。	
対応	農業委員会や農業ニュースやしおを通じて、制度の内容や農地利用集積円滑化事業のメリットについて周知を図る。さいかつ農業協同組合や農業団体と連携を図りながら情報収集をするなど事業の推進を図る。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
中川周辺農地で生産する農地所有適格法人数及び農家数(累計)	件	2	計画	4	6	8	9	10
			実績	4	5			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	2 地産地消推進事業		部	市民活力推進部	課	都市農業課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり(農業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			
	基本的方向	1	立地条件を活かした都市型農業の振興			
	具体的な施策		農産物のブランド化による販路の拡大			
	事業内容	・新たな需要の拡大や販路の開拓を促進するため、本市独自の認定制度の創設による八潮の八つの野菜のブランド化や、情報発信によるイメージアップを支援する。				
		数値目標		指標名	単位	現状値(H27)
法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)		人	3,554(H26年度)	3,994		
八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持			
八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360			
就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10			

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPRを行った。	0
H28	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開した。さらに、八潮産農産物のイメージアップと消費拡大を図るため、認定農業者及びエコファーマーが使用することができる農業用包装資材(FG袋)の版下を作成した。80,900枚の発注があった。	73
H29	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPRを行う。	0
H30	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPRを行う。	0
H31	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPRを行う。	0

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
理由	農商工連携事業として各種イベントを開催し、小松菜の無料配布など、八潮の八つの野菜のPR事業を展開したことにより、売上額のアップとなったため。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)					
理由	売上実績が、計画額を上回ったため。						
成果向上のための課題と対応策							
課題	八潮産農産物のイメージアップと消費拡大を図るためには、安全・安心・新鮮な野菜を常に提供しなければならない。そのためには、農業者の農業知識及び生産技術の向上を図らなければならない。						
対応	意欲と能力がある農業者の育成「認定農業者」、堆肥による土作りと化学合成肥料・農薬の使用低減に取り組む「エコファーマー」の育成に取り組む。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/> 他事業と統合して継続				
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
直売所売上高(年間)	円	70,000,000	計画	80,000,000	85,000,000	90,000,000	95,000,000	100,000,000
			実績	84,195,454	62,410,690			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	3 ふれあい農業促進事業		部	市民活力推進部	課	都市農業課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり(農業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			
	基本的方向	1	立地条件を活かした都市型農業の振興			
	具体的な施策		農地の保全と有効活用の促進			
	事業内容	・本市の都市型農業と農産物のPRをより効果的に行うため、遊休農地等を活用した農業体験を促進する。				
		数値目標		指標名	単位	現状値(H27)
法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)			人	3,554(H26年度)	3,994	
八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)				1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持	
八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)			人	320(H26年度)	360	
就労支援による新規就業者数(累計)			人	-	10	

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	平成28年度から農業体験事業を実施するための事業費の確保及び実施者である農業者の確保、調整を行った。	0
H28	枝豆・小松菜栽培の親子農業体験を実施した。	100
H29	農業体験事業を実施する。	300
H30	農業体験事業を実施する。	300
H31	農業体験事業を実施する。	300

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
理由	平成28年度の農業体験事業の準備として事業費の確保及び実施者である農業者の確保、調整を行った。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)					
理由							
成果向上のための課題と対応策							
課題	農業体験を実施するためには、事業を実施する農業者を確保し、事業への協力(圃場の確保、時期、品種などの調整)を得ることが必要である。						
対応	農業委員会からの情報を基に協力者を確保するとともに、農業団体等に農業体験事業の周知を図り、協力を依頼する。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/> 他事業と統合して継続				
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
体験農園数(年間)	園	-	計画	-	3	3	3	3
			実績	0	1			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	4 商店街活性化推進事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり(商業・サービス業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり		数値目標	
	基本的方向	2	魅力ある商業環境の創出		指標名	単位
	具体的な施策		商店街の活性化		現状値(H27)	目標値(H31)
	事業内容		・商店街の活性化を図るため、市民団体や事業者等による空き店舗等の活用を支援する。		法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人
				八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		3,554(H26年度)
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	3,994
				就労支援による新規就業者数(累計)	人	1.50(H26年度)
						現状値と同程度を維持
						320(H26年度)
						360
						-
						10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	モデルケースとして市内1商店会において、NPOを立ち上げ商店会における空き店舗等を活用した、宅配事業、カフェ等の実施に向けた検討が行われた。	0
H28	前年度に引き続き、モデルケースとして市内1商店会における空き店舗等の活用について検討を行う。	0
H29	市内商店会における空き店舗等の活用に対する、新たな補助制度等について、先進自治体の事例を参考に検討を行っていく。	0
H30	市内商店会において、空き店舗等を活用した事業を実施する。	2,200
H31	市内商店会において、空き店舗等を活用した事業を実施する。	1,200

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	C:活動できなかった	
	市内商店会における空き店舗等の活用について、モデルケースとして市内1商店会会長と実施に向けた検討を行った。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	C:達成できなかった(80%未満)	
	成果向上のための課題と対応策	
課題	商店会における空き店舗等の活用については、商店会としては必要性は認識しているものの、資金的な問題、運営方法等の問題もあり、実現には至っていない。	
対応	国や県等における、補助金等の活用や、新たな補助制度の確立に向け、他の自治体の事例等情報収集に努める。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31
事業活用数(累計)	件	計画	-	-	-	1	2
		実績	0	0			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	5 中心商業拠点の形成事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課	
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～					
	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり(商業・サービス業)					
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり		数値目標			
	基本的方向	2	魅力ある商業環境の創出		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		中心商業拠点の形成		法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
	事業内容		・中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組織化を推進し、市内商店街との連携を図り、市内全域の商業活性化を支援する。		八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
					八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
					就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組織化に向けた検討を行った。	0
H28	中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組織化に向けた検討を行っている。	0
H29	八潮駅周辺における商業集積状況を調査し、事業者の組織化に向けた意向等をヒヤリング等により把握する。	6,378
H30	前年度実施した調査の結果を踏まえ、事業者の組織化に向けた補助制度の検討を行う。	0
H31	八潮市商工会と連携し、八潮駅周辺の事業者の組織化に向けた支援を行う。	0

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
理由	中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺の事業者の組織化に向けた、他市の事例等について情報収集を行った。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
理由							
成果向上のための課題と対応策							
課題	八潮駅周辺における最新の商業集積状況を把握するとともに、八潮駅周辺の事業者の組織化に対する意向の把握を行う必要がある。						
対応	八潮駅周辺の商業集積状況調査を実施し、商業集積状況を確認したうえで、事業者の組織化に向けた意向をヒヤリング等により把握する。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続			
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
八潮駅周辺における商店街組織数(累計)	件	-	計画	-	-	-	-	1
			実績	0	0			



総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	6 商業支援事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり(商業・サービス業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			
	基本的方向	2	魅力ある商業環境の創出			
	具体的な施策		個店の活性化			
	事業内容		・市内商店の継続的な経営を支援するため、専門家による経営改善に向けた指導や事業継続に関する相談等を実施する。 ・市内の商業支援や後継者確保のため、交歓・交流イベントの開催等を支援する。			
			数値目標			
			指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
			法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
			八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
			八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
			就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市内商店の活性化のために、専門家による一店逸品運動参加店舗の経営診断(店舗診断)を、3店舗に対して行った。	100
H28	市内商店の活性化のために、専門家による一店逸品運動参加店舗の経営診断(店舗診断)を、2店舗に対して行う。	0
H29	市内商店の活性化のために、専門家による一店逸品運動参加店舗の経営診断(店舗診断)を、2店舗に対して行う。	100
H30	市内商店の活性化のために、専門家による一店逸品運動参加店舗の経営診断(店舗診断)を、2店舗に対して行う。 市内商店の後継者確保のためのセミナーの実施に向けた検討を行う。	100
H31	市内商店の活性化のために、一店逸品運動参加店舗の経営診断(店舗診断)を専門家により、2店舗に対して行う。 市内商店の後継者確保のためのセミナーを実施する。	100

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
理由	事業者の意識啓発を行うため、一店逸品運動参加店に対して、経営診断(店舗診断)を行った。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)					
理由	平成27年度は、3店舗に対して経営診断(店舗診断)を行ったため、KPIとして設定した事業活用数を達成できた。						
成果向上のための課題と対応策							
課題	市内事業者の後継者確保のために必要な支援策について検討を進め、具体的な取り組みにつなげる必要がある。						
対応	後継者確保のための交歓・交流イベントの他に、セミナーの実施等についても検討を行う。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/> 他事業と統合して継続				
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
事業活用数(累計)	件	-	計画	2	4	6	8	10
			実績	3	3			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	7 工業振興事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課	
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～					
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)					
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり		数値目標			
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		工業製品のブランド化による販路の拡大		法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
	事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな販路を開拓し、受注機会の拡大を図るため、展示会・見本市などへ事業所の製品等を出展する際の支援を充実させる。</li> <li>・販路拡大や需給のマッチングに向け、市内の優れたブランド製品を冊子にまとめるとともに、情報発信しセールスするなど、市が積極的に支援する。</li> <li>・工業製品の八潮ブランドを確立するため、専門家による審査を実施し、質の高い製品の認定を行う。</li> </ul>		八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360	
				就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10	

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市内の中小企業者が新たな販路を開拓し、受注機会の拡大を図るため、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を4事業所に対して行った。 また、八潮ブランドの確立に向けて、先進自治体の事例研究を行った。	310
H28	八潮市内で製造、生産された優れた工業製品等を「八潮ブランド」として認定する。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行う。	968
H29	八潮市内で製造、生産された優れた工業製品等を「八潮ブランド」として認定するとともに、前年度認定品の積極的なPRを行っている。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行う。	1,018
H30	八潮市内で製造、生産された優れた工業製品等を「八潮ブランド」として認定するとともに、前年度認定品の積極的なPRを行っている。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行う。	1,068
H31	八潮市内で製造、生産された優れた工業製品等を「八潮ブランド」として認定するとともに、前年度認定品の積極的なPRを行っている。また、ブランドとして認定された商品を冊子にまとめる。 また、展示会などへ製品等を出展する際の費用の一部の補助を行う。	1,118

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
理由	平成28年度から実施する八潮ブランドの確立に向けて、全国の先進自治体の事例等を収集し、研究を行った。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
理由							
成果向上のための課題と対応策							
課題	平成28年度から実施する八潮ブランド認定事業について、ブランド化による、八潮市のイメージアップを図るためのPR方法等について検討を行う必要がある。						
対応	八潮ブランドのブランド力を高めるため、平成28年度のブランド認定事業の実績を踏まえ、問題点や課題等抽出し、次年度以降の事業の実施に活かしていく。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続			
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
認定品数(累計)	品目	-	計画	-	2	3	4	5
			実績	0	0			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	8 経営改善支援事業【先行型事業】		部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興			
	具体的な施策		操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出			
	事業内容	・今後の工業振興施策に役立てるため、市内の製造業の実態について調査し、市内製造業を取り巻く環境や現状、経営者の声等を取りまとめる。また、特色ある事業に取り組む事業所や、技術水準の高い事業所等に専門家を派遣し、ヒアリング調査を経て冊子として取りまとめ、広く市内外に配布することで、受注機会の拡大につなげる。				
		数値目標		指標名	単位	現状値(H27)
		法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994	
		八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持	
		八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360	
		就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10	

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市内1,479の製造業事業者を対象に、「八潮市製造業実態調査」を実施した。 また、製造業実態調査を実施した際にPRを希望する事業所に専門家を派遣して取材を行い「八潮こだわりのモノづくり企業50社」を作成した。	6,474
H28		
H29		
H30		
H31		

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった
理由	「製造業実態調査」を実施し、報告書を作成した。 また、「八潮こだわりのモノづくり企業50社」を2,000部作成し、掲載企業の受注機会の拡大のため、広くPRを行った。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
理由	「八潮こだわりのモノづくり企業50社」の作成にあたり、専門家を50事業所へ派遣し、ヒアリングを実施することができたため、KPIとして設定した目標値を達成できた。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	「八潮こだわりのモノづくり企業50社」の今後の効果的な活用方法の検討が必要である。	
対応	出展展示会や様々なイベント等において配布を行う。 また、越谷市が作成した越谷ものづくり企業ガイドブック「CREATION&PRODUCTION」掲載企業80社に対して「八潮こだわりのモノづくり企業50社」を送付し、受給マッチングを図った。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続 <input type="checkbox"/> :休止・廃止 <input type="checkbox"/> :終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続 <input type="checkbox"/> :他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	:重点化(拡充) <input type="checkbox"/> :手段を改善 <input type="checkbox"/> :効率・簡素化 <input type="checkbox"/> :その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
市内事業所へのヒアリング(年間)	事業所	-	計画	50	-	-	-	-
		-	実績	50	-	-	-	-

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	9 経営革新取組企業支援事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課	
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標			
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
	事業内容		・経営の向上を図るため、中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業が行う新技術の活用や異分野連携による新事業開拓などを支援する。	八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
				就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを3事業所に対して派遣した。	200
H28	経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを派遣する。	0
H29	経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを派遣する。 経営革新計画策定のため、さらなるPR方法について検討を行う。	240
H30	経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを派遣する。	240
H31	経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを派遣する。	240

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	八潮市商工会と連携し、経営革新計画の承認を目指す事業所を支援するため、経営革新アドバイザーを派遣した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	平成27年度の経営革新計画承認取得事業所数は4件であり、KPIとして設定した計画値の3件を上回ったため。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	経営革新計画そのものの認知度がまだ低いものと思われること。	
対応	市内事業者に対する経営革新計画策定のメリット等を含めたPRを拡充する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	:休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	:終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続
	<input type="checkbox"/>	:他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
承認取得事業所数(年間)	件	-	計画	3	3	3	3	3
			実績	4	2			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	10 災害時の業務継続計画策定支援事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり			
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興			
	具体的な施策		操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出			
	事業内容	・災害が発生した際、事業継承のために複数の戦略や基本的な取組状況を明確にするなど、業務継続計画を立案できるよう支援する。				
		数値目標		指標名	単位	現状値(H27)
法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)			人	3,554(H26年度)	3,994	
八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)				1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持	
八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)			人	320(H26年度)	360	
就労支援による新規就業者数(累計)			人	-	10	

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	平成30年度の業務継続計画策定支援セミナーの実施に向けて、検討を行った。	0
H28	平成30年度の業務継続計画策定支援セミナーの実施に向けて、検討を行った。	0
H29	平成30年度の業務継続計画策定支援セミナーの実施に向けて、検討を行う。	0
H30	災害時の業務継続計画策定支援セミナーの実施。	200
H31	前年度実施した、災害時の業務継続計画策定支援セミナーを踏まえ、事業者の計画策定に対する補助制度等の支援策について検討を行う。	0

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
理由	平成30年度の事業実施に向けて、先進自治体の事例等の情報収集を行った。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)					
理由							
成果向上のための課題と対応策							
課題	内閣府によれば、災害時の業務継続計画を策定している企業は、大企業で5割強に対して、中小企業は1割程度と非常に少ない状況である。災害が発生した際に、速やかに事業を再開するため、業務継続計画を事前に策定しておくことの重要性を多くの事業者認識してもらう。						
対応	災害時の業務継続計画策定が、災害後の企業の存続のため、非常に重要であることを認識してもらうためにセミナーを開催し、中小企業に対する支援を行う。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/> 他事業と統合して継続				
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
業務継続計画策定件数(年間)	件	-	計画	-	-	-	5	5
		0	実績	0	0			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	11 企業立地推進事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課	
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり(工業)				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標			
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
	事業内容		・工業系用途地域の占める割合が高い本市の特性を活かし、関係機関と連携を図り、空き不動産情報の提供を行うなど、企業誘致を推進する。	八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
				就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な空き不動産情報の提供を行った。	0
H28	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な空き不動産情報の提供を行った。	0
H29	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な空き不動産情報の提供を行う。	0
H30	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な空き不動産情報の提供を行う。	0
H31	埼玉県企業立地課との連携を図り、本市で把握が可能な空き不動産情報の提供を行う。	0

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
理由	新たに市内に立地を希望する企業から、空き不動産情報に関する問い合わせがあった場合に、八潮市商工会から情報収集を行い、適宜情報提供した。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)					
理由	不動産の空き地情報についての問い合わせに対し、八潮市商工会から情報を収集し、KPIとして設定した目標値である、年間10件を上回る12件の情報提供を行ったため。						
成果向上のための課題と対応策							
課題	空き不動産情報の提供については、市単独で実施することは困難であり、埼玉県との連携が必要である。						
対応	埼玉県との連携をより一層充実させていく。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/> 他事業と統合して継続				
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
誘致に向けた情報提供数(年間)	件	計画		10	10	10	10	10
		実績		12	8			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	12 北部拠点まちづくり事業		部	都市デザイン部	課	都市計画課 他	
総合計画	施策の柱(章)	5	都市基盤・環境～快適でやすらぎと潤いのあるまち～				
	大施策(節)	1	自然と調和した都市空間づくり(土地利用)				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標			
	基本的方向	3	高い技術に裏づけされた八潮ブランドの確立による工業の振興	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策	②	操業支援による活力ある事業所の維持・雇用の創出	法人市民税納税義務者数(法人均等制納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
	事業内容	・個別開発による企業立地を促進するため、北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画を策定し、北部拠点の形成を促進する。		八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
就労支援による新規就業者数(累計)				人	—	10	

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画(案)をとりまとめた。	7,112
H28	北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画(案)の決定手続を行う。 また、PAの早期整備を目的とした「地権者の会」の発足及び活動支援を行う。	2,494
H29	スマートICのレイアウト修正業務及び入谷東西線の交差点設計他業務を行う。 また、北部地区のまちづくりに取組む地元組織を設置する。	7,100
H30	スマートICの概略設計業務及び入谷東西線の概略設計業務を行う。 また、土地利用計画書を作成する。	5,900
H31	スマートICの交通量推計業務及び入谷東西線の用地測量業務を行う。 また、産業施設の立地を許容するため、都市計画法等を活用した区域を指定する。	15,200

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
理由	北部拠点まちづくり推進地区まちづくり協議会を開催し、まちづくり計画(案)を取りまとめることができたため。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
理由							
成果向上のための課題と対応策							
課題	北部拠点の形成については、PAの整備に併せ進めていく必要があるが、PAの整備に課題があるため、進捗に影響が生じている。						
対応	PAの整備を促進するため、地域、ネクスコ、市が連携し、PAの早期整備に向けた環境づくりを進めることで、課題解決に取り組む。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続			
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
北部地区の進出事業所数(累計)	事業所	0	計画	—	—	—	—	1
			実績	0	0			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	13 労働セミナー開催事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	5	いきいきと働ける就業環境づくり(労働)				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	数値目標			
	基本的方向	4	意欲ある若者やそれを支える家族に対する支援による就労機会の拡大	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		きめ細かな就労支援による就労機会の拡大	法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人	3,554(H26年度)	3,994
	事業内容		・就労に悩む若者を支援するため、専門家による就職に直結する実践型のプログラムにのっとり、グループワークや面接練習を実施する。 ・就労に悩む若者を支える家族を支援するため、若者への日常での接し方などに関する保護者セミナーを実施し、家族間の交流にもつなげる。	八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)		1.50(H26年度)	現状値と同程度を維持
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	320(H26年度)	360
				就労支援による新規就業者数(累計)	人	-	10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	平成29年度事業実施に向け、事業内容を検討し、関係機関との連携を図った。	0
H28	「ハローワーク草加」、国と市が地域住民の就職促進及び利便性向上を目的に協同運営する「八潮市ふるさとハローワーク」、埼玉県東部エリアの市町やハローワークと連携し、若者やその家族の就労支援を行う「かすかべ若者サポートステーション」(以下「サポステ」と)就労意識の向上を目的に、事業の実施に向け協議・調整を行う。	0
H29	就職に悩む若者を支援するため、専門家による就職に直結する実践型のプログラムにのっとり、グループワークや面接練習を実施する、『若者のための「就職支援セミナー」』を年12回通年で開催する。就職に悩む若者を支える家族のため、若者への日常での接し方や家族間の交流のため、『若者を支える家族のための「保護者セミナー」』を年6回通年で開催する。	540
H30	就職に悩む若者を支援するため、専門家による就職に直結する実践型のプログラムにのっとり、グループワークや面接練習を実施する、『若者のための「就職支援セミナー」』を年6回上半期に開催する。就職に悩む若者を支える家族のため、若者への日常での接し方や家族間の交流のため、『若者を支える家族のための「保護者セミナー」』を年3回上半期に開催する。 なお、事業終了後、参加者は「サポステ」に引き継ぐことを想定する。	270
H31	平成29年度及び平成30年度の事業結果を検証し、引き続き支援が必要な参加者が「サポステ」で実施される、「就職支援セミナー」、「保護者セミナー」などを利用することで、さらなる就労意欲の向上を目指す。	0

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった
理由	平成29年度実施に向け、事業内容について開催時期や回数などを検討した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
理由		
成果向上のための課題と対応策		
課題	本事業は、平成29年度から1年半、試行的に実施するため、「就職支援セミナー」、「保護者セミナー」にどの程度の参加者があるか推移を見守る必要があり、より多くの参加者を集めることが課題である。なお、平成30年度事業終了後、参加者は「サポステ」に引き継ぐことを想定するため、「サポステ」の周知を計画当初から実施していく。	
対応	周知方法について「広報やしお」だけでなく、「やしお840メール配信サービス」の活用など、より効果的な周知方法を検討する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続 <input type="checkbox"/> 他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 手段を改善 <input type="checkbox"/> 効率・簡素化 <input type="checkbox"/> その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
セミナー参加者数(年間) 若者支援	人	-	計画	-	-	180	90	-
			実績	0	0			-



総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	14 雇用安定事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	5	いきいきと働ける就業環境づくり(労働)			
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり		数値目標	
	基本的方向	4	意欲ある若者やそれを支える家族に対する支援による就労機会の拡大		指標名	単位
	具体的な施策		きめ細かな就労支援による就労機会の拡大		法人市民税納税義務者数(法人均等割納税義務者数)	人
	事業内容		・悩み事を相談する機会が少ない若者と家族を支援するため、専門家による「就労相談会」を実施する。 ・働くことにブランクがある若者の社会への復帰を支援するため、市内事業所や農家、シルバー人材センター、リサイクルプラザなどでのジョブトレーニングを実施する。		八潮市の有効求人倍率(年度の平均値)	人
				八潮市ふるさとハローワーク相談者の就職人数(年間)	人	3,554(H26年度)
				就労支援による新規就業者数(累計)	人	3,994
						1.50(H26年度)
						現状値と同程度を維持
						360
						-
						10

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	平成29年度事業実施に向け、事業内容を検討し、関係機関との連携を図った。	0
H28	「ハローワーク草加」、国と市が地域住民の就職促進及び利便性向上を目的に協同運営する「八潮市ふるさとハローワーク」、埼玉県東部エリアの市町やハローワークと連携し、若者やその家族の就労支援を行う「かすかべ若者サポートステーション」(以下「サポステ」)と若者の雇用安定を目的に、事業の実施に向け協議・調整を行う。	0
H29	悩み事を相談する機会が少ない若者と家族のために、専門家による「就労相談会」を年12回通年で開催する。また、働くことにブランクがある若者に、市内事業所や農家、シルバー人材センター、リサイクルプラザなどで、若者ジョブ・トレーニングを最大年6回通年で実施する。	0
H30	悩み事を相談する機会が少ない若者と家族のために、専門家による「就労相談会」を年12回通年で開催する。(平成27年度からの継続事業)また、働くことにブランクがある若者に、市内事業所や農家、シルバー人材センター、リサイクルプラザなどで、若者ジョブ・トレーニングを最大年3回上半期に実施する。なお、事業終了後は、参加者は「サポステ」に引き継ぐことを想定する。	0
H31	平成29年度及び平成30年度の事業結果を検証し、引き続き支援が必要な相談者が「サポステ」で実施される、就労相談会や若者ジョブ・トレーニングなどを利用することで、若者の雇用安定を目指す。	0

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	平成29年度実施に向け、事業内容について開催時期や回数などを検討した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	達成できなかった(80%未満)	
成果向上のための課題と対応策		
課題	本事業は平成29年度から1年半、試行的に実施するため、「就職相談会」などにどの程度の相談者があるか推移を見守る必要があり、より多くの相談者を集めることが課題である。なお、平成30年度事業終了後、参加者は「サポステ」に引き継ぐことを想定するため、「サポステ」の周知を計画当初から実施していく。	
対応	周知方法について「広報やしお」だけでなく、「やしお840メール配信サービス」の活用など、より効果的な周知方法を検討する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31
ジョブトレーニング参加者数(年間)	人	計画	-	-	18	9	-
		実績	0	0			-

## 基本目標 2

- ・ 人や情報の交流による  
[ 住みやすさナンバー 1 のまち八潮 ] の  
発信



総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	1 観光資源開発事業		部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～			
	大施策(節)	4	水と花にふれあう観光づくり(観光)			
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による「住みやすさナンバー1のまち八潮」の発信			
	基本的方向	1	八潮市ならではの資源を活かした来訪者の増加による認知度の向上			
	具体的な施策		八潮市ならではの観光資源等を活用した交流機会の提供			
	事業内容		観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」)来訪者数(年間) 八潮市に「住み続けたい」人の割合(20～40代)			
			数値目標			
			指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
			観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000(H26年度)	250,000
			八潮市に「住み続けたい」人の割合(20～40代)	%	39.6(H25年度)	45.0

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	中川やしお水辺の楽校が開校し、多くのイベントを開催した。中川やしおフラワーパークにおいて、花桃まつり及び清掃イベントを開催したほか、ラジオ体操の会場としても日々活用された。やしお駅前公園において、夏まつり夜市を開催した。	7,669
H28	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催する。中川やしおフラワーパークにおいて、前年度同様のイベント等を開催するほか、新たな集客イベントまたは事業の実施について研究を進める。やしお駅前公園において、夏まつり夜市・ゆるぽかマルシェ(2回)を開催した。平成29年1月に朝市を開催予定。	10,814
H29	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催する。中川やしおフラワーパークにおいて、前年度同様のイベント等を開催するほか、新たな集客イベントまたは事業の実施について研究を進める。やしお駅前公園において、前年度同様のイベント等を開催するほか、朝市の定例的な開催を目指す。	23,182
H30	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催する。中川やしおフラワーパークにおいて、前年度同様のイベント等を開催するほか、新たな集客イベントまたは事業の実施について検討を進める。やしお駅前公園において、前年度同様のイベント等を開催するほか、新たな集客イベントの開催を目指す。	16,164
H31	中川やしお水辺の楽校を活用し、多くのイベントを開催する。中川やしおフラワーパークにおいて、前年度同様のイベント等を開催するほか、新たな集客イベントまたは事業の実施を目指す。やしお駅前公園において、前年度同様のイベント等を開催するほか、新たな集客イベントの開催を目指す。	16,164

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	「中川やしお水辺の楽校」の正式開校後、多くのイベントを開催したほか、「やしお駅前公園」の正式開園時に「夏まつり夜市」を開催するなど、観光資源の開発という面で大きな成果を挙げることができた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	KPIとして設定した「中川やしお水辺の楽校来訪者数」及び「中川やしおフラワーパーク来訪者数」のいずれも、実績数値が計画数値を上回った。特に、「中川やしお水辺の楽校来訪者数」においては、今後も順調に増加することが見込める。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	中川やしお水辺の楽校、中川やしおフラワーパーク、やしお駅前公園のいずれも屋外にある施設であるため、集客イベントの開催においては、天候により来場者数が大きく変動する。	
対応	一般に、屋外で開催するイベントの場合、天候により来場者数が大きく変動することは避けられないが、多少の降雨であればイベントの開催に支障がないように、会場設営時にテントを設置するなどの対応を行う。	
方向性	現状のまま継続	休止・廃止
	見直して継続	他事業と統合して継続
	重点化(拡充)	手段を改善
	効率・簡素化	その他

KPI名	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	
中川やしお水辺の楽校来訪者数(年間)	人	10,000	計画	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000
			実績	13,000	10,000			
中川やしおフラワーパーク来訪者数(年間)	人	70,000	計画	70,000	75,000	80,000	90,000	100,000
			実績	71,000	28,000			
やしお駅前公園来園者数(年間)	人	-	計画	-	110,000	113,000	116,000	120,000
			実績	103,000	102,000			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	2 広報事業		部	企画財政部	課	秘書広報課
総合計画	施策の柱(章)	6	新公共経営～協働で経営する自主・自律のまち～			
	大施策(節)	2	市民に開かれたまちづくり(情報共有)			
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]の発信			
	基本的方向	1	八潮市ならではの資源を活かした来訪者の増加による認知度の向上			
	具体的な施策		多様なメディアを活用した八潮市の魅力の市外への情報発信			
	事業内容		・本市へのより多くの来訪を促すため、ツイッター、フェイスブック、動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの宣伝情報や開催風景の動画等を随時、市内外へ発信する。 ・市外の方に本市に関心を持ってもらうため、産業や観光資源など、「八潮市の魅力」を分析し、様々な広報媒体を用いて効果的に発信する。			
			数値目標			
			指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
			観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000(H26年度)	250,000
			八潮市に「住み続けたい」人の割合(20～40代)	%	39.6(H25年度)	45.0

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス(ツイッター及びフェイスブックに連動)を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信した。	14,411
H28	市ホームページ、広報やしお等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信する。シティセールスプラン策定の際、ワークショップの開催や市職員からの意見募集を実施し、本市の魅力を発掘する。	8,177
H29	動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動画等を市内外へ発信することについて、調査・研究する。産業や観光資源などの本市の魅力を分析する。	28,277
H30	動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動画等を市内外へ発信することについて、調査・研究する。産業や観光資源などの本市の魅力を分析する。	26,203
H31	動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動画等を市内外へ発信する。産業や観光資源などの本市の魅力を様々な広報媒体を用いて効果的に発信する。	25,231

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス(ツイッター及びフェイスブックに連動)を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報を随時、市内外へ発信した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	やしお840メール配信サービスの活用について、庁内LANの業務掲示板等での周知を行い、イベントの情報発信件数は、65件に増加したが、計画件数は達成できなかった。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	メール配信サービスの積極的な活用について、職員に周知することが必要である。また、効果的な情報発信を行うためには、職員のスキルアップ等が不可欠である。	
対応	メール配信サービスの活用について、庁内LANの業務掲示板等で定期的に周知する。また、情報提供のあり方について先進自治体の事例を調査・研究するとともに、職員のスキルアップのため、関連する研修等に参加する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
ツイッター、フェイスブックによる情報発信件数(年間)	件	31	計画	200	200	200	200	200
			実績	65	38			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	3 コミュニティ施設整備事業		部	市民活力推進部	課	市民協働推進課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にすまち～				
	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり(コミュニティ)				
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]の発信	数値目標			
	基本的方向	2	情報交流機会の充実による市民生活の利便性・快適性の向上	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		既存施設を活用した市民の情報交流の場づくり	観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000(H26年度)	250,000
	事業内容		・小学生、中学生、高齢者など、市民だれもが気軽に交流できるよう、サロンスペースを市内に確保するとともに、利用のためのルールの検討を行う。	八潮市に「住み続けたい」人の割合(20～40代)	%	39.6(H25年度)	45.0

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	楽習館2Fに設置している市民活動支援コーナーや交流サロンの利用について広く市民に周知した。埼玉県、企業、市との協働で、介護施設の一部を住民に貸し出せる施設として設定し、市民団体に紹介した。	0
H28	コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用を検討する。コミュニティセンターの読書談話室スペースの新たな活用を市内NPOや社会福祉協議会と協議する。	0
H29	コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用を検討する。コミュニティセンターの読書談話室スペースの新たな活用を市内NPOや社会福祉協議会と協議する。	0
H30	企業等の貸し出しスペースや空き家等の活用に関して調査を行う。コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用について市内活動団体に周知する。	0
H31	企業等の貸し出しスペースや空き家等の活用に関して引き続き調査を行う。コミュニティセンターの読書談話室スペースの活用について市内活動団体に周知する。	0

事業の評価				
H27年度の活動の実施状況の評価				
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった	
理由	利用のためのルールについては、主に企業スペースや空き家を想定していることから、利用可能な空家が想定できる段階において、関係課等と協議の上決定していくため。			
H27年度のKPI達成度				
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)	
理由	利用可能な企業等の貸し出しスペースに限りがあり、計画数値を下回ったため。			
成果向上のための課題と対応策				
課題	企業スペースの活用となると、市からのPRに制限がある。企業スペースや空き家が使用可能になるまで、事業実施が見込みづらい。			
対応	企業等の貸し出し可能スペースについては、市民活動支援コーナーやボランティアラックで周知する。			
方向性		:現状のまま継続	:休止・廃止	:終了・完了
		:見直して継続	:他事業と統合して継続	
	↳	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
交流サロン活用可能箇所数(累計)	か所	0	計画	3	3	3	5	7
			実績	1	1			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	4 広報事業		部	企画財政部	課	秘書広報課	
総合計画	施策の柱(章)	6	新公共経営～協働で経営する自主・自律のまち～				
	大施策(節)	2	市民に開かれたまちづくり(情報共有)				
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]の発信	数値目標			
	基本的方向	2	情報交流機会の充実による市民生活の利便性・快適性の向上	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		市の広報媒体を活用した情報交流機会の提供	観光資源(「中川やしお水辺の楽校」「中川やしおフラワーパーク」「やしお駅前公園」)来訪者数(年間)	人	80,000(H26年度)	250,000
	事業内容		・市民や市外の人が必要とする情報が簡単に得られるよう、市の情報発信の拠点となるホームページのリニューアルを行う。 ・市民生活に役立つ情報交換を行っている市民団体・NPO等の優良なサイトと連携し、市民の暮らしに関する情報入手の利便性を向上する。 ・市ホームページや「広報やしお」「やしお840メール配信サービス」等においてテーマ性のある情報を配信するなど、市民の満足度の高い情報発信のあり方を研究する。	八潮市に「住み続けたい」人の割合(20～40代)	%	39.6(H25年度)	45.0

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市ホームページのリニューアルに向けて調査・研究を行うとともに、仕様書等を作成した。 また、市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス等において、積極的に情報発信を行った。	14,411
H28	11月1日に、市ホームページのリニューアルを行った。 また、市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス等において、積極的に情報発信を行った。	8,177
H29	市民団体・NPO等の優良なサイトと連携について調査・研究する。 また、市ホームページ及び広報やしお等において、市民の満足度の高い情報発信のあり方を研究する。	28,277
H30	市民団体・NPO等と協議し、平成31年度から優良なサイトとの連携の実施に向けて調整を行う。 また、市ホームページ及び広報やしお等において、市民の満足度の高い情報発信のあり方を研究する。	26,203
H31	市民団体・NPO等の優良なサイトと連携し、市民の暮らしに関する情報入手の利便性を向上する。 また、市ホームページ、広報やしお及びやしお840メール配信サービス等において市民の満足度の高い情報発信をする。	25,231

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	市ホームページのリニューアルに向けて調査・研究を行った。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	広報やしお毎号に、やしお840メール配信サービスのQRコードを掲載し、当該サービスへの登録について周知した。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	市民団体・NPO等の優良なサイトとの連携については、市民団体等の情報の信頼性や管理上に課題がある。	
対応	先進自治体の事例を参考に調査・研究を行い、市民団体・NPO等の優良なサイトとの連携について、市民団体等と協議を行い、実施に向けて検討する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
やしお840メール配信サービス利用登録件数(累計)	件	1,500	計画	1,500	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	1,896	2,170			

## 基本目標 3

- ・ 保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり



総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H27年度実施事業)

基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり						
基本目標の趣旨	子どもの保育や教育等に関する環境の充実を図るとともに、親子で出かけられる機会や場所を充実させることで、親が自分の時間等も大切にしながら楽しく子育てできる、親と子がともに安心して暮らせる環境をつくる。							
数値目標								
指標名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
「子育て環境」の満足度(20~40代) 「満足」「やや満足」の合算値(無回答は除いて算出)	%	8.0 (H25年度)	計画	-	11.2	-	-	16.0
			実績	-	9.3	-	-	-
「学校教育の質」の満足度(20~40代) 「満足」「やや満足」の合算値(無回答は除いて算出)	%	6.2 (H25年度)	計画	-	8.7	-	-	12.4
			実績	-	11.5	-	-	-
			計画					
			実績					
			計画					
			実績					

事業の状況					
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	方向性	備考
1 地域子育て支援拠点事業	A	子育てひろば利用者数	B	現状のまま継続	
2 利用者支援事業	A	子育てコーディネーター相談件数	-	現状のまま継続	
3 ホームスタート事業	A	ホームスタート利用者数	-	現状のまま継続	
4 子育て環境改善事業【先行型事業】	A	補助対象世帯数	B	現状のまま継続	
5 放課後児童健全育成施設整備事業	A	学童保育所利用者数	B	見直して継続(重点化(拡充))	
6 学童保育所管理運営事業	A	学童保育所利用者数	B	見直して継続(重点化(拡充))	
7 事業所内保育事業	A	待機児童数	C	現状のまま継続	
8 小規模保育事業	A	待機児童数	C	見直して継続(重点化(拡充))	
9 子育て環境改善事業【先行型事業】	A	地域子育て支援拠点利用者数	B	現状のまま継続	
10 教育指導推進事業	A	全国学力学習状況調査平均正答率	-	見直して継続(重点化(拡充))	
11 小中一貫教育推進事業	A	全国学力学習状況調査平均正答率	C	見直して継続(手段を改善)	
12 地域人材活用推進事業	A	土曜勉強会参加者数	A	見直して継続(手段を改善)	
13 教育指導推進事業	A	八潮こども夢大学参加者数	B	見直して継続(重点化(拡充))	
14 家庭教育推進事業	A	いのちの授業(誕生学)実施回数	A	現状のまま継続	

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	1 地域子育て支援拠点事業		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課		
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～					
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)					
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標			
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策	1	交流の場づくりによる子育てへの不安の解消		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
	事業内容	・子育て親子の交流等を促進しながら、子育て支援機能の充実を図るため、駅周辺に子育てひろばを整備する。		「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4	

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市内6か所(楽習館子育てひろば・駅前出張子育てひろば・やわた子育てひろば・はちじょう子育てひろば・ゆまにて子育てひろば・子育てサロン)で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施した。	11,632
H28	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施する。子育てサロンの開催日時を拡充してだいら子育てひろばとして開催する。10月3日からやしお子育てほっとステーション内に駅前子育てひろばを開催する。	16,321
H29	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施する。八潮駅周辺における需要が多いため、八潮駅周辺において保育所併設型の子育てひろばなどの新規開設について検討する。	32,325
H30	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施する。八潮駅周辺における需要が多いため、八潮駅周辺において保育所併設型の子育てひろばなどの新規開設について検討する。	32,325
H31	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施する。八潮駅周辺における需要が多いため、八潮駅周辺において保育所併設型の子育てひろばなどの新規開設について検討する。	32,325

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
理由	市内6か所の子育てひろばにおいて、子育て相談(191件)、身体測定(1,835人)、栄養相談(70件)、各種講習会(2,334人)を実施した。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)					
理由	タッチケアなどの講習会の開催回数を増加するとともに、こんにちは乳児家庭全戸訪問などでチラシを配布するなどの事業周知を図り、利用者数の増加に努めたが、利用者数が計画値を下回ったため。						
成果向上のための課題と対応策							
課題	事業周知と柔軟な発想や運営ノウハウを生かした運営ができる民間事業者への委託方式を検討する必要がある。また、開催時間の延長について検討する必要がある。						
対応	Webやアプリを活用した周知と直営のひろばについては、NPO法人などへの委託方式を検討する。また、近隣市のひろばの開催状況の調査をする必要がある。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続			
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
子育てひろば利用者数(年間)	人	36,000	計画	36,000	48,000	48,000	48,000	48,000
			実績	29,676	27,467			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	2 利用者支援事業		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実			
	具体的な施策		交流の場づくりによる子育てへの不安の解消			
	事業内容		・子育てに関する情報提供や子育て支援を円滑に利用できるように、子育てコーディネーターを子育てひろばなどに配置する。			
			数値目標			
			指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
			「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
			「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八潮駅周辺の地域子育て支援拠点(子育てひろば)において教育・保育施設や子育て支援の事業等の情報集約と情報提供を行うとともに、保護者からのそれらの利用にあたっての相談に応じ、必要な情報提供等を行う「利用者支援事業」をNPO法人などに業務委託することを検討した。	0
H28	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において「ホームスタート事業」を実施する。また、教育・保育や子育て支援事業等の情報の閲覧、子育て関連施設の検索等の利便性を高めるため、子育て支援に特化した八潮市独自の「子育て情報Webサイト」や「子育て応援アプリ」の構築及び保守・管理について民間事業者業務委託し、更なる子育て支援の充実を図ることを検討する。	2,251
H29	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において「ホームスタート事業」を実施する。また、教育・保育や子育て支援事業等の情報の閲覧、子育て関連施設の検索等の利便性を高めるため、子育て支援に特化した八潮市独自の「子育て情報Webサイト」や「子育て応援アプリ」の構築及び保守・管理について民間事業者業務委託し、更なる子育て支援の充実を図る。	8,945
H30	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において「ホームスタート事業」を実施する。また、教育・保育や子育て支援事業等の情報の閲覧、子育て関連施設の検索等の利便性を高めるため、子育て支援に特化した八潮市独自の「子育て情報Webサイト」や「子育て応援アプリ」の構築及び保守・管理について民間事業者業務委託し、更なる子育て支援の充実を図る。	8,945
H31	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において「ホームスタート事業」を実施する。また、教育・保育や子育て支援事業等の情報の閲覧、子育て関連施設の検索等の利便性を高めるため、子育て支援に特化した八潮市独自の「子育て情報Webサイト」や「子育て応援アプリ」の構築及び保守・管理について民間事業者業務委託し、更なる子育て支援の充実を図る。	8,945

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	八潮駅周辺の地域子育て支援拠点(子育てひろば)において「利用者支援事業」をNPO法人などに業務委託することを検討したため。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由		
成果向上のための課題と対応策		
課題	事業周知の徹底と関係課との連携が必要である。	
対応	市のホームページややしお840メール配信等による周知に加え、乳児家庭全戸訪問などにおいてもチラシを配布するなど、関係課と連携し事業周知を図る。	
方向性	現状のまま継続	休止・廃止
	見直して継続	他事業と統合して継続
	重点化(拡充)	手段を改善
	効率・簡素化	その他

KPI名	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31
子育てコーディネーター相談件数(年間)	件	計画	-	200	200	200	200
		実績	0	161			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	3 ホームスタート事業		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課		
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～					
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)					
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標			
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		交流の場づくりによる子育てへの不安の解消		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
	事業内容		・親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問を実施する。		「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八潮駅周辺の地域子育て支援拠点(子育てひろば)において親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問を実施する「ホームスタート事業」をNPO法人などに業務委託することを検討した。	0
H28	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において、親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問を実施する「ホームスタート事業」を実施する。	1,338
H29	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において、親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問を実施する「ホームスタート事業」を実施する。	2,049
H30	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において、親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問を実施する「ホームスタート事業」を実施する。	2,049
H31	つくばエクスプレス八潮駅高架下において、NPO法人との業務委託により設置した「やしお子育てほっとステーション」内において、親の心の安定と子育て意欲の向上を図るため、在宅子育てをしている家庭などに専門のスタッフによる訪問を実施する「ホームスタート事業」を実施する。	2,049

事業の評価				
H27年度の活動の実施状況の評価				
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった	
理由	八潮駅周辺の地域子育て支援拠点(子育てひろば)において「ホームスタート事業」をNPO法人などに業務委託することを検討したため。			
H27年度のKPI達成度				
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)	
理由				
成果向上のための課題と対応策				
課題	事業周知の徹底と関係課との連携が必要である。			
対応	市のホームページややしお840メール配信等による周知に加え、乳児家庭全戸訪問などにおいてもチラシを配布するなど、関係課と連携し事業周知を図る。			
方向性		現状のまま継続	休止・廃止	終了・完了
		見直して継続	他事業と統合して継続	
	↳	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
ホームスタート利用者数(年間)	人	-	計画	-	30	60	60	60
			実績	0	1			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	4 子育て環境改善事業【先行型事業】		部	ふれあい福祉部	課	保育課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標	
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位
	具体的な施策	親の子育てにおける負担の軽減		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	現状値(H27)
	事業内容	・多子世帯における経済的負担の軽減を図るため、保育所等に入所する第3子以降の児童(満3歳未満)の保育料を助成する。		「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	目標値(H31)
					8.0(H25年度)	16.0
					6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保育料の免除 保育料免除額:6,668,100円 県補助金:3,334千円(補助率1/2) 県補助金とは別に、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用した。(交付金:3,170千円)	0
H28	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保育料の免除 保育料免除額:23,028千円 県補助金:11,514千円(補助率1/2)	0
H29	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保育料の免除 保育料免除額:6,800千円 県補助金:3,400千円(補助率1/2)	0
H30	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保育料の免除 保育料免除額:6,800千円 県補助金:3,400千円(補助率1/2)	0
H31	保育所等に入所する第3子以降の満3歳未満の児童の保育料の免除 保育料免除額:6,800千円 県補助金:3,400千円(補助率1/2)	0

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	目標値「40人」に対し、実績が「35人」であったが、該当する多子世帯の保育所等利用における経済的負担の軽減を図ることができた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	C:達成できなかった(80%未満)
理由	目標値「40人」に対し、実績が「35人」であったが、該当する多子世帯の保育所等利用における経済的負担の軽減を図ることができた。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	多子世帯における子どもの保育料の負担の軽減を図るとともに、保育所等の優先利用について検討する必要がある。	
対応	保育所の入所選考基準において、多子世帯における子どもの保育所等の優先利用の規定を設けることで、多子世帯の保育利用の増加や、利用者負担の軽減の拡大につながるものと考えられる。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
補助対象世帯数(年間)	世帯	31	計画	40	40	40	40	40
			実績	35	26			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	5 放課後児童健全育成施設整備事業		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課																							
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～																										
	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり (児童福祉・ひとり親家庭福祉)																										
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり																										
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実																										
	具体的な施策	②	親の子育てにおける負担の軽減																										
	事業内容	・子育て支援環境を充実するため、駅周辺に学童保育所を整備し、併せて駅周辺の学童保育所の開所時間を延長する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">数値目標</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値 (H27)</th> <th>目標値 (H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「子育て環境」の満足度 (20～40代)</td> <td>%</td> <td>8.0 (H25年度)</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>「学校教育の質」の満足度 (20～40代)</td> <td>%</td> <td>6.2 (H25年度)</td> <td>12.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			数値目標				指標名	単位	現状値 (H27)	目標値 (H31)	「子育て環境」の満足度 (20～40代)	%	8.0 (H25年度)	16.0	「学校教育の質」の満足度 (20～40代)	%	6.2 (H25年度)	12.4							
数値目標																													
指標名	単位	現状値 (H27)	目標値 (H31)																										
「子育て環境」の満足度 (20～40代)	%	8.0 (H25年度)	16.0																										
「学校教育の質」の満足度 (20～40代)	%	6.2 (H25年度)	12.4																										

事業の実施状況 (見込み)		事業費 (千円)
H27	八潮駅周辺の住宅整備の進捗に伴い、入所児童数が増加しており、学童保育所の待機児童が発生することが想定されることから、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき、駅周辺において入所児童の安全・安心を確保できる送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法人等の民間活力の導入及び新たな民間学童保育所の整備について検討した。	0
H28	八潮駅周辺に、送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法人等の民間活力の導入及び学校敷地外に新規の学童保育所(定員60名)の整備を検討する。また、大曽根小学校の児童数増加に伴い、学童保育所として使用していた教室を普通教室に戻す必要があるため、送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法人等の民間活力の導入及び学校敷地外に新規の学童保育所(定員80名)の整備を検討する。	0
H29	八潮駅周辺及び大曽根小学校の周辺に送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法人等により学校敷地外に新規の学童保育所を2施設(合計定員140名)整備をする。大原小学校の児童数増加に伴い、学童保育所として使用していた教室を普通教室に戻す必要があるため、送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法人等の民間活力の導入及び学校敷地外に新規の学童保育所(定員80名)の整備を検討する。	12,600
H30	大原小学校の児童数増加に伴い、学童保育所として使用していた教室を普通教室に戻す必要があるため、送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供が可能な社会福祉法人等により学校敷地外に新規の学童保育所(定員80名)を整備する。	37,352
H31	平成30年度の学童保育所入所児童数や児童数、居住環境等の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき学童保育所の整備を検討する。	0

事業の評価			
H27年度の活動の実施状況の評価			
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった
理由	学校敷地内への移設や新設が困難な場合における対応として、社会福祉法人等により学校敷地外に施設を整備し、安全・安心を確保するため送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供について検討した。		
H27年度のKPI達成度			
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)
理由	学童保育所利用者数が計画値を少し下回ったため。		
成果向上のための課題と対応策			
課題	八潮駅を中心に児童数が増加しており、小学校の普通教室が不足し、空き教室を活用していた学童保育所を学校敷地外に移設する必要がある。		
対応	学校敷地内への移設や新設が困難な場合においては、社会福祉法人等により学校敷地外に施設を整備し、入所児童の安全・安心を確保する送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供について検討する。		
方向性		:現状のまま継続	:休止・廃止
		:見直して継続	:他事業と統合して継続
	➡	重点化(拡充)	手段を改善 効率・簡素化 その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
学童保育所利用者数(年間)	人	5,300	計画	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
			実績	5,403	3,809			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	6 学童保育所管理運営事業		部	ふれあい福祉部	課	保育課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標	
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位
	具体的な施策		親の子育てにおける負担の軽減		現状値(H27)	目標値(H31)
	事業内容		・子育て支援環境を充実するため、駅周辺に学童保育所を整備し、併せて駅周辺の学童保育所の開所時間を延長する。		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%
					8.0(H25年度)	16.0
					「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%
					6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八潮駅周辺の学童保育所における保育時間について、現在の午後6時30分までの開所時間の延長についての調査研究を行った。	0
H28	八潮駅周辺の学童保育所における保育時間について、現在の午後6時30分までの開所時間の延長についての調査研究を行う。	0
H29	おおぜ学童保育所の公設民営(指定管理者制度)での運営を開始し、学童保育所における開所時間を延長する。 開所時間:午後6時30分 午後7時30分に繰り下げ	21,100
H30	平成29年度に整備予定のおおそね学童保育所の代替施設・八潮駅周辺の新規施設において、開所時間を延長して学童保育所を運営する。 おおぜ学童保育所において、開所時間を延長して学童保育所を運営する。	81,300
H31	平成30年度に整備予定のだいばら学童保育所の代替施設において、開所時間を延長して学童保育所を運営する。 おおぜ学童保育所と、平成30年度開設の学童保育所において、開所時間を延長して学童保育所を運営する。	111,400

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	学童保育所の開所時間の延長についての必要性や、近隣市における保育時間の調査について、調査研究を行うことができた	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	学童保育所への入所希望が想定よりも下回ったことにより、結果として目標を下回ったものの、年間の通所児童数は5,403人で、成果指標の目標を概ね達成できた。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	駅周辺における保育需要の増大に伴い、利用児童が増加する傾向にあるほか、長時間保育に対するニーズなど、新たな保育ニーズへの対応が求められている。	
対応	新たな学童保育所の整備や開所時間の延長について民間活力を導入することで、保育需要の増大や新たな保育ニーズに対応できるものと考えている。	
方向性	現状のまま継続	休止・廃止
	見直して継続	他事業と統合して継続
	重点化(拡充)	手段を改善
	効率・簡素化	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
学童保育所利用者数(年間)	人	5,300	計画	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
			実績	5,403	3,809			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	7 事業所内保育事業		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課		
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～					
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)					
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標			
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		親の子育てにおける負担の軽減		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
	事業内容		・子育て支援環境を充実するため、女性社員が多く働く企業等に働きかけ、事業所内保育(認可外)の整備を促進する。		「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会が助成している「企業主導型保育事業」の助成制度の周知を検討する。	0
H28	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会が助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知する。	0
H29	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会が助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知する。	0
H30	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会が助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知する。	0
H31	事業所(企業)内保育事業の整備促進のため、県で交付している「事業所内保育事業」の整備補助金や内閣府及び公益財団法人児童育成協会が助成している「企業主導型保育事業」の制度について市のホームページやチラシ等で周知する。	0

事業の評価				
H27年度の活動の実施状況の評価				
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった	
理由	内閣府、埼玉県及び公益財団法人児童育成協会等から情報を収集し、「事業所内保育事業」の整備補助金や「企業主導型保育事業」の助成金について、平成28年度からの周知を検討した。			
H27年度のKPI達成度				
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)	
理由	平成28年度以降の待機児童解消に向けて、企業主導型保育事業等の情報を収集し、事業周知の検討を行ったが保育所待機児童数が33人発生したため。			
成果向上のための課題と対応策				
課題	事業周知の徹底			
対応	関係課等と連携し、広く企業に周知をしていく必要がある。			
方向性		:現状のまま継続	:休止・廃止	:終了・完了
		:見直して継続	:他事業と統合して継続	
	↳	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
待機児童数(年間)	人	33	計画	0	0	0	0	0
			実績	33	0			



総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	8 小規模保育事業		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課		
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～					
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)					
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標			
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		親の子育てにおける負担の軽減		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
	事業内容		・子育て支援環境を充実するため、駅周辺のマンションの整備に併せて、1階部分に小規模保育施設(認可外)の設置を促進する。		「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	新制度における待機児童対策として、新設の小規模保育施設4か所(みひかり保育園:定員13名・しおどめ保育園小規模認可:定員15名・ふえあひ保育園八潮駅南口園:定員15名・ふえあひ保育園八潮中央園:定員14名)を整備した。また、家庭保育室2か所(もりまさ保育園:定員18名・おひさま保育園:定員12名)について保育需要の高い八潮駅周辺に移設し小規模保育施設に移行した。	0
H28	平成27年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。	0
H29	平成28年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。	0
H30	平成29年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。	0
H31	平成30年度の入所児童数や乳幼児の人口、居住環境の変化等を勘案し、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模保育施設の整備を検討する。	0

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
理由	新制度における待機児童対策として、八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき小規模施設を6か所整備できたため。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
理由	平成27年度に小規模保育施設6か所(合計定員87名)を整備したことにより、平成28年4月1日時点における待機児童は発生していないが、平成27年4月1日時点における待機児童数は33人であったため。						
成果向上のための課題と対応策							
課題	連携施設の設定を進める必要がある。						
対応	民間認可保育所の園長会議等において、協力を求めていく必要がある。また、今後、認可保育所等を整備する場合においては、2歳児と3歳児の定員枠に差をつける必要がある。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>				他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
待機児童数(年間)	人	33	計画	0	0	0	0	0
			実績	33	0			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	9 子育て環境改善事業【先行型事業】		部	ふれあい福祉部	課	子育て支援課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子ども幸せづくり(児童福祉・ひとり親家庭福祉)			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標	
	基本的方向	1	子どもの居場所や親子の交流機会の提供による子育て環境の充実		指標名	単位
	具体的な施策		子どもと一緒に外出しやすい環境の充実		現状値(H27)	目標値(H31)
	事業内容		子育て親子が安全に、安心して外出できる環境を整備するため、地域子育て支援事業等を実施する施設におむつ交換などを設置し、更なる利用者の増加を図る。また、屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出す。		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	地域子育て支援拠点の実施設等6施設に16台のおむつ交換台を設置した。地域子育て支援拠点の実施設等5施設に22台のベビーチェアを設置した。保健センター他4施設に授乳スペースを確保した。移動式あかちゃんの駅(簡易テント・授乳用椅子・おむつ交換ベッド)を2セット購入し、やしお市民まつりで設置したところ、24組48名の利用があった。ベビーカーマークやチラシ等を作成し、ベビーカーの安全な利用や理解の周知を図った。	6,104
H28	地域子育て支援事業等を実施する施設におむつ交換などを設置し、更なる利用者の増加を図る。また、屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出す。	1,038
H29	地域子育て支援事業等を実施する施設におむつ交換などを設置し、更なる利用者の増加を図る。また、屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出す。	1,409
H30	屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出す。また、既に設置したおむつ交換台等の安全な利用を図るため保守点検等を実施する。	0
H31	屋外における市民まつりなどで実施されている子育て世帯を対象としたイベント等に「移動式あかちゃんの駅」として、簡易テントやおむつ交換ベッド等を貸し出す。また、既に設置したおむつ交換台等の安全な利用を図るため保守点検等を実施する。	0

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	地域子育て支援拠点の実施設等6施設に16台のおむつ交換台を設置した。地域子育て支援拠点の実施設等5施設に22台のベビーチェアを設置した。保健センター他4施設に授乳スペースを確保した。移動式あかちゃんの駅(簡易テント・授乳用椅子・おむつ交換ベッド)を2セット購入し、やしお市民まつりで設置したところ、24組48名の利用があった。ベビーカーマークやチラシ等を作成し、ベビーカーの安全な利用や理解の周知を図ったため。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	利用者数が計画値を下回ったため。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	おむつ交換台や授乳スペース等の設置場所を市民に広く周知する必要がある。	
対応	Webやアプリを活用した周知方法について検討する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
地域子育て支援拠点利用者数(年間)	人	36,000	計画	36,000	48,000	48,000	48,000	48,000
			実績	29,676	27,467			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	10 教育指導推進事業		部	学校教育部	課	指導課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～				
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)				
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	数値目標			
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		きめ細やかな学習指導による学力の向上	「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
	事業内容		・児童生徒の一人ひとりの学力を伸ばすため、個々の学力の実態を把握し、その状況に応じた課題に取り組めるよう指導する。	「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	学習塾と連携した学習指導に関する調査研究を行った。	0
H28	市内小学校5年生の児童150人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月～3月に実施する。1クラスあたり12～13人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用する。	0
H29	市内小学校5年生の児童150人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月～3月に実施する。1クラスあたり12～13人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用する。	3,253
H30	市内小学校5年生の児童150人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月～3月に実施する。1クラスあたり12～13人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用する。	3,253
H31	市内小学校5年生の児童150人を対象として、学習塾講師による国語・算数の学習指導を年間8回、1月～3月に実施する。1クラスあたり12～13人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は市の公共施設を利用する。	3,253

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった
理由	学習塾と連携した学習指導に関する調査研究を進めることができた。学力調査の結果を分析して八潮市の課題を明らかにし、他市等の状況(学習塾と連携した取組)について調査して学習塾との連携の在り方について研究を深めることができた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)
理由		
成果向上のための課題と対応策		
課題	学習塾との連携については、平成28年度からの実施となる。平成28年度の全国学力・学習状況調査における全国平均との差は、平成27年度からほぼ横ばいであり、引き続き課題である。事業の実施規模や実施時期、対象学年等について、今後も引き続き検討していく必要がある。	
対応	事業実施の成果と課題を検証し、実施規模や実施時期、実施回数、対象学年、クラス編成、学習内容等を必要に応じて工夫改善をする。事業実施とともに、学校における日々の授業についても見直し、教師の授業力向上、魅力ある授業づくりを図るための指導・助言を行う。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続 <input type="checkbox"/> :休止・廃止 <input type="checkbox"/> :終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続 <input type="checkbox"/> :他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 手段を改善 <input type="checkbox"/> 効率・簡素化 <input type="checkbox"/> その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
全国学力学習状況調査平均正答率(全国平均との差)(累計)	ポイント	-5	計画	-	-4	-3	-2	-1
			実績	小-4.0 中-6.4	小-4.6 中-6.6			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	11 小中一貫教育推進事業		部	学校教育部	課	小中一貫教育推進室		
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～					
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)					
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標			
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		きめ細やかな学習指導による学力の向上		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
	事業内容		・小中学校間の垣根を越え、基礎基本の定着や自ら学ぶ力の育成などの「学力の向上」を図るため、学力に関する課題を共有し、その解決に向け、9年間を見通して計画的かつ継続的な取り組みを行う小中一貫教育を推進する。		「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続するとともに、「八潮Basic . . .」の配付、「生活・学習ガイド」の配付、小学校3校・中学校1校に学力向上指導員を配置し、9年間を見通したきめ細やかな指導を行った。また、教員の授業力向上のために、秋田県小坂町への派遣研修を行った。大原中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	9,807
H28	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続するとともに、「八潮Basic . . .」の配付、「生活・学習ガイド」の配付、小学校4校に学力向上指導員を配置し、9年間を見通したきめ細やかな指導を行った。また、教員の授業力向上のために、秋田県小坂町への派遣研修を行った。全校で「八潮スタンダード」を試行的に活用した。八幡中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	4,721
H29	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続するとともに、「八潮Basic . . .」の配付、「生活・学習ガイド」の配付を継続する。また、教員の授業力向上のために、秋田県小坂町への派遣研修も継続する。「八潮スタンダード」を全面実施とし、児童生徒の一層の学力向上を図る。八幡中学校ブロックにおいて研究発表会を開催する。	6,248
H30	全校を対象とした小中一貫教育の第三次研究指定を行う。「八潮スタンダード」を活用した授業実践の徹底を図るとともに、「八潮Basic . . .」の配付、「生活・学習ガイド」の配付を継続する。市内のいずれかの中学校ブロックにおいて研究発表会を開催する。	6,248
H31	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続する。また、「八潮スタンダード」を活用した授業実践の徹底を図るとともに、「八潮Basic . . .」の配付、「生活・学習ガイド」の配付を継続する。市内のいずれかの中学校ブロックにおいて研究発表会を開催する。	8,513

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	八潮Basic . . .、生活・学習ガイドの配付、学力向上指導員7名の配置を通し、基礎学力の向上に寄与した。小坂町の派遣研修については5名の教員を派遣し、授業改善について全市に発信できた。大原中学校ブロックで研究発表会を開催し、参加者より高い評価を受けた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	小学校は計画値を達成したが、中学校は計画値を達成することはできなかったため。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	全校において、児童生徒の基礎基本の学力を徹底して身に付けさせること、基礎基本の学力を活用した思考力・判断力・表現力を養う授業への改善が課題である。	
対応	全校で「八潮スタンダード」を活用した授業実践を徹底して行っていくことで、児童生徒の学力向上を図っていく。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
全国学力学習状況調査平均正答率(全国平均との差)(累計)	ポイント	-5	計画	-5	-4	-3	-2	-1
			実績	小-4.0 中-6.4	小-4.6 中-6.6			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	12 地域人材活用推進事業		部	学校教育部	課	指導課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～				
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)				
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標		
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	
	具体的な施策		多様な学習機会の提供による学習意欲の向上		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・児童生徒の学習意欲を高めるため、保護者、地域の方等を活用し、土曜勉強会(ジョイスタ:補足的な教室)の拡充を図る。		「子育て環境」の満足度(20~40代)	%	
				「学校教育の質」の満足度(20~40代)	%	8.0(H25年度)	16.0
						6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	補足的な学習を年間14回、特別授業を年間16回、入試対策的な学習教室を年間9回実施した。補足的な学習については、サマースクール、ウィンタースクールにも地域人材を活用し、児童生徒の学習支援を実施した。一人一人に応じた指導が行われた。	977
H28	補足的な学習を年間10回、特別授業を年間7回、補足的な学習(延べ33回)については、サマースクールにも地域人材を活用し、児童生徒の学習支援を実施した。一人一人に応じた指導が行われた。	291
H29	対象学年・実施回数・時期・会場の見直しを行い、補充の教室を参加者一人一人のニーズに合った補足的な学習教室(パワーアップ教室)にしていく。補足的な学習教室10回、特別授業10回、入試対策的な学習教室8回。	1,068
H30	対象学年・実施回数・時期・会場の見直しを行い、補充の教室を参加者一人一人のニーズに合った補足的な学習教室(パワーアップ教室)にしていく。補足的な学習教室10回、特別授業10回、入試対策的な学習教室8回。	1,068
H31	対象学年・実施回数・時期・会場の見直しを行い、補充の教室を参加者一人一人のニーズに合った補足的な学習教室(パワーアップ教室)にしていく。補足的な学習教室10回、特別授業10回、入試対策的な学習教室8回。	1,068

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	C:活動できなかった 補充学習での学習支援は児童生徒のニーズに合わせたものであり、回を重ねるごとに、自分で学習内容を決めたり、わからないことを質問したりするなど、学習意欲の高まりがみられた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	C:達成できなかった(80%未満) 参加した児童生徒の学習に対する意欲を高めることができた。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	学校行事との兼ね合いや、学校を会場とするため保護者の送迎等、実施日や実施場所が、保護者の要望に応じられていない。 また、参加児童生徒のニーズに合った個別の指導が適切に行われていない。	
対応	実施回数や実施時期を見直し、参加しやすい会場を再検討するとともに、対象学年を絞り、補充学習の内容を焦点化する。 また、参加児童生徒の実態把握をし、参加者のニーズに合った指導を行う。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	:休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	:終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続
	<input type="checkbox"/>	:他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
土曜勉強会参加者数(年間)	人	100	計画	110	120	130	140	150
			実績	110	180			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	13 教育指導推進事業		部	学校教育部	課	指導課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～				
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)				
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標		
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	
	具体的な施策		多様な学習機会の提供による学習意欲の向上		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・大学と連携・協力し、様々な分野の内容を模擬体験授業や大学構内の施設見学等を通して、子どもたちの「将来の夢や希望をはぐくみ」「知的好奇心を喚起し」「学ぶ意欲の向上」を図る。		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)
				「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八潮こども夢大学の参加募集対象を拡大し、小学校5年生～中学校1年生とし 期2 4名が、4大学で5回、期3 2名が、5大学で6回の合計11回の体験学習を受講し、八潮こども夢大学を修了した。	1,075
H28	小学校5年生～中学校1年生に募集をし、 期1 9名が、4大学で4回、 期2 1名が、4大学で4回の合計8回の体験学習を受講する。	944
H29	小学校5年生～中学校1年生に募集をし、 期・ 期を合わせて3 5名がそれぞれ4大学で4回の合計8回の体験学習を受講する。	1,124
H30	小学校5年生～中学校1年生に募集をし、 期・ 期を合わせて3 5名がそれぞれ4大学で4回の合計8回の体験学習を受講する。	1,124
H31	小学校5年生～中学校1年生に募集をし、 期・ 期を合わせて3 5名がそれぞれ4大学で4回の合計8回の体験学習を受講する。	1,124

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	募集対象を小学校5年生～中学生1年生までに拡充したことで2期制にしたため、多くの児童生徒が参加することができ、大学での貴重な体験学習をすることができた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	募集対象を拡充して、多くの児童生徒が参加をすることができた。さらに充実するために参加条件に改善の余地がある。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	参加者の安定と内容の充実を図るために、参加条件を見直すことが考えられる。	
対応	一度参加したことのある児童生徒は、対象外となっているが、参加対象とする。(参加意欲が高く、夢大学のよさを知っているため)しかし、優先順位は、初めての人とする。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
八潮こども夢大学参加者数(経年累積人数)	人	33	計画	60	95	130	165	200
			実績	56	96			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	14 家庭教育推進事業		部	教育総務部	課	社会教育課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～				
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり(幼児教育・学校教育)				
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり		数値目標		
	基本的方向	2	教育の充実による子どもが「生きる力」を身につけられる環境の実現		指標名	単位	
	具体的な施策		命に関する教育の推進		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・将来、親になるための学習として、世の中にとって自分自身が大切な存在だと思える気持ちを育み、命の大切さを伝えるいのちの授業(誕生学)を市内小中学校において実施する。		「子育て環境」の満足度(20～40代)	%	8.0(H25年度)
				「学校教育の質」の満足度(20～40代)	%	6.2(H25年度)	12.4

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を21回実施した。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を3回実施した。	1,441
H28	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施する。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を3回実施する。	992
H29	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施する。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を4回実施する。	1,517
H30	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施する。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を4回実施する。	1,517
H31	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施する。また、市内3校の小学校において小学6年生及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を4回実施する。	1,517

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	C:活動できなかった 中学3年生、小学6年生及び保護者を対象とした本事業を計画どおり実施できた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	C:達成できなかった(80%未満) 計画していた授業回数を実施できたため。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	学校及び家庭との連携、協力が必要な事業であり、また、子ども達の健やかな心を育み、家庭教育の充実を図るためにも引き続き継続する必要がある。	
対応	学校及び家庭との連携、協力をさらに図り、事業の充実に努める。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	:休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	:終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続
	<input type="checkbox"/>	:他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
いのちの授業(誕生学)実施回数(累計)	回	24	計画	24	48	72	96	120
			実績	24	47			

# 基本目標 4

・ 自助・共助・公助の充実による安全・  
安心なコミュニティの形成



総合戦略 基本目標別総括評価シート(対象:H27年度実施事業)

基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成						
基本目標の趣旨	地域の安全・安心を支える知識の普及や体制強化のための支援を行うとともに、地域における人と人とのつながりを強めることで、互いに支えあい学びあいながら安全・安心なまちづくりを進めることができるコミュニティを形成する。							
数値目標								
指標名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6 (H25年度)	計画	-	35.4	-	-	39.6
			実績	-	20.4	-	-	
交通事故発生件数	件	528 (H26年)	計画	510	510	510	510	510
			実績	461	360			
刑法犯認知件数	件	1,271 (H26年)	計画	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
			実績	951	847			
			計画					
			実績					

事業の状況					
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	方向性	備考
1 地域防災力向上事業【先行型事業】	A	研修会・意見交換会実施回数	A	現状のまま継続	
2 自主防災組織育成事業	A	自主防災組織結成率	B	現状のまま継続	
3 交通安全指導・教育事業	A	交通安全教室実施回数	C	現状のまま継続	
4 防犯活動普及事業	A	活動団体数	A	現状のまま継続	
5 防犯施設整備事業	A	防犯カメラ設置数	A	現状のまま継続	
6 コミュニティ意識の高揚事業	B	実施町会・自治会数	-	現状のまま継続	
7 地域リーダー養成事業	A	地域リーダー養成講座受講者数	-	現状のまま継続	

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	1 地域防災力向上事業【先行型事業】		部	生活安全部	課	危機管理防災課	
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～				
	大施策(節)	1	災害に強いまちづくり(防災・減災)				
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数値目標		
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	
	具体的な施策		地域主体の防災活動実施のための支援による地域防災力の強化		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の充実・強化や、乳幼児・高齢者・女性等の災害弱者への配慮に努める。 ・消防団を充実し、市民の防災意識を高めるとともに、地域防災力の向上と地域間の連携を促進する。		町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)
				交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
				刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	災害弱者である乳幼児に対する災害用備蓄品の整備を図った。離乳食、おやつ、哺乳瓶・消毒剤、おしりふき、紙おむつ、粉ミルク、電気ポット、保温ポットを購入。粉ミルクは倉庫(伊勢野)。電気ポット、保温ポットは小中学校15校。離乳食等は小学校10校の避難所へ備蓄した。また、子育て親子の防災教室6回、防災知識出前講座3回実施した。	1,520
H28	子育て親子の防災教室6回、防災知識出前講座4回実施。講座にあわせ意見交換を実施。	0
H29	子育て(乳幼児)親子防災教室、防災知識出前講座の実施。	0
H30	子育て(乳幼児)親子防災教室、防災知識出前講座の実施。	0
H31	子育て(乳幼児)親子防災教室、防災知識出前講座の実施。	0

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	災害弱者である乳幼児の保護者を対象に防災教室を開催し、併せ乳幼児向け災害用備蓄品についてアンケートを実施し、それを参考に備蓄品を整備した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	子育て親子防災教室6回、防災知識出前講座3回を行い市民一人ひとりの防災意識の醸成を図り、地域防災力の向上が図られたと考える。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	自主防災組織の高齢化による担い手不足による地域防災力の低下が懸念される。	
対応	子育て親子防災教室や防災知識出前講座などを通じて、各自主防災組織が実施する防災訓練への参加を促すなど、防災意識の醸成を図る。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	:休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	:終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続
	<input type="checkbox"/>	:他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	H31
研修会・意見交換会実施回数(年間)	回	1	3	3	3	3	3
		計画	9	10			
		実績					

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	2 自主防災組織育成事業		部	生活安全部	課	危機管理防災課		
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～					
	大施策(節)	1	災害に強いまちづくり(防災・減災)					
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数値目標			
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		地域主体の防災活動実施のための支援による地域防災力の強化		町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)	39.6
	事業内容		・組織の高齢化による担い手不足を解消し、地域防災力の強化を図るため、自主防災組織の防災訓練の実施や、資機材整備等の支援を行うとともに、研修会や意見交換会を開催する。また、自主防災組織の取り組みを通して、市民一人ひとりの意識の醸成を図る。		交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
					刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	自主防災組織の充実・強化を図るため、各自主防災組織に対し資機材費補助金を支給し、資機材の整備を図った。また、火山災害対策として、火山灰による健康被害の軽減を図るため防じんマスクを備蓄した。 資機材購入補助:43団体、4,256,076円 備蓄品:防じんマスク19,360枚 1,986,336円 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努めた。	6,243
H28	グリーンパーク第2八潮町会へ自主防災組織結成についての働きかけを行った。 自主防災組織育成事業として、避難所開設及び運営に関する研修会等を実施。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努めた。	0
H29	自主防災組織育成事業として避難所開設及び運営に関する研修会等の実施。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努める。	0
H30	自主防災組織育成事業として避難所開設及び運営に関する研修会等の実施。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努める。	0
H31	自主防災組織育成事業として避難所開設及び運営に関する研修会等の実施。 各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努める。	0

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	C:活動できなかった 自主防災組織が補助金を積極的に活用し、資機材整備を行ったことにより、地域防災力の向上が図られたものとする。また、各自主防災組織が実施する防災訓練に出向き、自助の取組みの必要性について周知を図り、防災力の向上に努めた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	C:達成できなかった(80%未満) 達成には、至らないものの結成についての働きかけを行うとともに、指標は現状を維持できたことから概ね達成できたと判断した。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	自主防災組織未結成の町会は、単一マンションの町会であるが、役員任期が1年のため働きかけを行っているが、設立まで至らない。	
対応	新規設立町会(マンション)や未結成町会に対し、引き続き自主防災組織の必要性について説明し、結成を働きかけて行く。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	:休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	:終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続
	<input type="checkbox"/>	:他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
自主防災組織結成率(累計)	%	97.7	計画	100	100	100	100	100
			実績	97.7	97.7			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	3 交通安全指導・教育事業		部	生活安全部	課	交通防犯課		
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～					
	大施策(節)	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり(交通安全)					
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数値目標			
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位		
	具体的な施策		地域で取り組む安全で安心なまちづくり		現状値(H27)	目標値(H31)		
	事業内容		・自転車事故の発生率が高いことから、「自転車の安全な利用の促進に関する条例」の制定に合わせて、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を中学校で実施する。		町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)	39.6
					交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
					刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	子どもたちの発達段階に応じた交通安全教室や高齢者の特性を踏まえた交通安全教室を実施したが、スケアード・ストレイト教育技法を用いた中学校の交通安全教室は実施できなかった。	0
H28	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を八潮中学校と大原中学校で実施するとともに県教育局主催で八幡中学校でも実施した。	569
H29	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を八条中学校と八幡中学校で実施する。	663
H30	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を潮止中学校と八潮中学校で実施する。	663
H31	スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を大原中学校と八条中学校で実施する。	663

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	C:活動できなかった スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室は実施できなかったが、概ね子どもたちの発達段階に応じた交通安全教室や高齢者の特性を踏まえた交通安全教室は実施できた。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	C:達成できなかった(80%未満) 県教育局主催のスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室に申し込みをしていたが選ばれなかったため開催できなかった。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	中学生が在校中の3年間で最低1回はスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を体験できるようにする。	
対応	市が計画して毎年度2校ずつ実施することで中学生が在校中の3年間で最低1回はスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を体験できるようになる。	
方向性	<input type="checkbox"/>	:現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	:休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	:終了・完了
	<input type="checkbox"/>	:見直して継続
	<input type="checkbox"/>	:他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
交通安全教室実施回数(年間:中学校)	校	1	計画	1	2	2	2	2
			実績	0	3			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	4 防犯活動普及事業		部	生活安全部	課	交通防犯課	
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～				
	大施策(節)	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり(防犯)				
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数値目標		
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	
	具体的な施策		地域で取り組む安全で安心なまちづくり		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・地域主体の取り組みを促進するため、地域における防犯パトロールなどの活動を支援する。		町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)
				交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
				刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めた。 また、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図った。	2,237
H28	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図った。 また、青色回転パトロール車を導入し防犯活動の充実を図った。	1,696
H29	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図る。 また、青色回転パトロール車を活用した防犯活動の充実を図る。	3,169
H30	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図る。 また、青色回転パトロール車を活用した防犯活動の充実を図る。	3,186
H31	講習会の開催や防犯グッズを貸与するなど自主防犯パトロール隊の育成、支援に努めるとともに、草加地区防犯協会を通じて地域の防犯対策の促進を図る。 また、青色回転パトロール車を活用した防犯活動の充実を図る。	3,203

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
理由	計画どおり自主防犯パトロール隊に対する育成、支援ができた。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
理由	計画どおり自主防犯パトロール隊が確保でき地域防犯力の強化が図られた。						
成果向上のための課題と対応策							
課題	すでに各地域において自主防犯パトロール隊が結成されていることから新たに活動団体を増やすことは難しい。						
対応	活動団体を増やす努力と併せて活動内容の充実を図って地域防犯力を向上させる。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続			
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
活動団体数(累計)	団体	45	計画	45	46	47	48	49
			実績	45	45			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	5 防犯施設整備事業		部	生活安全部	課	交通防犯課	
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～				
	大施策(節)	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり(防犯)				
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数値目標		
	基本的方向	1	安全・安心を守る知識・組織・備えの充実		指標名	単位	
	具体的な施策		地域で取り組む安全で安心なまちづくり		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・犯罪の起きにくいまちづくりを推進するため、防犯カメラを設置するとともに、防犯灯の整備を促進する。		町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)
				交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
				刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八幡小学校、中川小学校、大原小学校、大原中学校の要望を踏まえ草加警察署と協議して学校周辺の道路上に防犯カメラを各校4基合計16基設置した。町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付したことにより38基が新設された。	30,513
H28	松之木小学校、柳之宮小学校、八潮中学校、八幡中学校の要望を踏まえ草加警察署と協議して学校周辺の道路上に防犯カメラを各校4基合計16基設置する。(契約済み)町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付し整備を促進する。	260
H29	八條小学校、八條北小学校、八條中学校の要望を踏まえ草加警察署と協議して学校周辺の道路上に防犯カメラを各校4基合計12基設置する。また、大原公園内に防犯カメラを設置する。町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付し整備を促進する。	33,234
H30	市内の既存公園内に防犯カメラを計画的に整備する。町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付し整備を促進する。	30,534
H31	市内の既存公園内に防犯カメラを計画的に整備する。町会等が設置管理する防犯灯に補助金を交付し整備を促進する。	31,134

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	計画どおり市内の小中学校周辺の道路上に防犯カメラを設置した。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	計画どおり防犯カメラを設置して犯罪の抑止に努めた。	
成果向上のための課題と対応策		
課題	防犯カメラの共架可能な電柱が少ない上に共架申請から許可が下りるまでに時間が掛かる。	
対応	防犯カメラの設置箇所について十分に学校や警察と協議するとともに早めに準備を進める。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
防犯カメラ設置数(累計)	基	58	計画	74	90	102	102	102
			実績	74	74			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	6 コミュニティ意識の高揚事業		部	市民活力推進部	課	市民協働推進課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にすまち～				
	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり(コミュニティ)				
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成		数値目標		
	基本的方向	2	顔の見える安全で安心なコミュニティの形成		指標名	単位	
	具体的な施策		地域の連携による市民のつながりの強化		現状値(H27)	目標値(H31)	
	事業内容		・子どもを中心として、地域のコミュニティ意識を醸成するため、町会・自治会等の公民館を学びや遊びの場として開放し、活用する。		町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)
				交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
				刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	町会自治会館での事業の活性化を図るため、新たなコミュニティ活動に関する補助金事業を検討した。	0
H28	各町会自治会から選出される、コミュニティ協議会役員へ説明し、町会自治会館で実施可能な事業を聴取する。町会自治会館での事業の活性化を図るため、新たなコミュニティ活動に関する補助金事業を検討した。	0
H29	実施希望のあった各町会自治会の事業決定をし、また、事業提案していく。(3町会予定)	600
H30	実施希望のあった各町会自治会の事業決定をし、また、事業提案していく。(3町会予定)	600
H31	実施希望のあった各町会自治会の事業決定をし、また、事業提案していく。(4町会予定)	800

事業の評価		
H27年度の活動の実施状況の評価		
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)
理由	C:活動できなかった 計画段階で実施には至らなかった。	
H27年度のKPI達成度		
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)
理由	C:達成できなかった(80%未満)	
成果向上のための課題と対応策		
課題	各町会自治会への、過大な負担とならないような事業提案が必要である。子どもを中心とした活動への理解や安全への配慮が必要となる。基本目標2 基本的方向2のコミュニティ施設整備事業との類似性や、子ども関係に限定された事業である点。	
対応	実施事例の紹介や事業計画を提案する。 保険の加入や指導者の経験を確認する。	
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続
	<input type="checkbox"/>	休止・廃止
	<input type="checkbox"/>	終了・完了
	<input type="checkbox"/>	見直して継続
	<input type="checkbox"/>	他事業と統合して継続
	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)
	<input type="checkbox"/>	手段を改善
	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化
	<input type="checkbox"/>	その他

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
実施町会・自治会数(累計)	町会・自治会	0	計画	-	-	3	6	10
			実績	0	0			

総合戦略 事業評価シート(対象:H27年度実施事業)

事務事業名	7 地域リーダー養成事業		部	市民活力推進部	課	市民協働推進課	
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にすまち～				
	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり(コミュニティ)				
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成	数値目標			
	基本的方向	2	顔の見える安全で安心なコミュニティの形成	指標名	単位	現状値(H27)	目標値(H31)
	具体的な施策		つながりづくりを牽引する人材の育成	町会・自治会等の地域活動への参加率	%	32.6(H25年度)	39.6
	事業内容		・地域コミュニティを活性化するため、地域連携に向けた取り組みをコーディネートする地域リーダーを養成する。	交通事故発生件数	件	528(H26年)	510
				刑法犯認知件数	件	1,271(H26年)	1,100

事業の実施状況(見込み)		事業費(千円)
H27	八潮市コミュニティ協議会と市内NPO団体との協働により地域活動入門講座を実施。(県の優先配分事業補助金活用)	150
H28	アクティブシニアの社会参加を推進するための県助成金を活用し、市民活動支援コーディネーター養成講座を計画した。 やしお孤立問題研究会との協働による避難所運営模擬体験講座を希望町会で実施した。	0
H29	地域リーダー養成講座を計画する。 市民大学の卒業生(OB会)や市内NPO団体、町会自治会との協働に向けた取組みを検討。	600
H30	地域リーダー養成講座を実施。 市民大学の卒業生(OB会)、市内NPO団体、町会自治会との協働に向けた取組みを実施。	600
H31	地域リーダー支援事業 各地区(3町会)にて地域リーダーによるコミュニティ推進事業を実施。	600

事業の評価							
H27年度の活動の実施状況の評価							
	A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
理由	団塊世代を対象に、初めて地域活動を始める方への第一歩として心構えや活動内容を知っていただく良いきっかけとなった。						
H27年度のKPI達成度							
	A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
理由							
成果向上のための課題と対応策							
課題	地域リーダーの養成は、単年度では実施が難しい。 活動が次に繋がるような事業企画にしなければならない。						
対応	継続性を要するため、中長期的な計画を立て、各年度実施する必要がある。						
方向性	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	<input type="checkbox"/>	終了・完了	
	<input type="checkbox"/>	見直して継続	<input type="checkbox"/>				他事業と統合して継続
	<input checked="" type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	手段を改善	<input type="checkbox"/>	効率・簡素化	<input type="checkbox"/>

KPI名	単位	現状値		H27	H28	H29	H30	H31
地域リーダー養成講座受講者数(累計)	人	0	計画	-	-	-	6	10
			実績	0	0			